

精神科デイ・ナイト・ケア 認定心理士として働く中で

呉みどりヶ丘病院精神科デイ・ナイト・ケア 心理士

野地史絵 (のじ ふみえ)

病院の紹介

アルコール依存症の専門病院デイ・ナイト・ケアで働いています。デイ・ナイト・ケアセンターは平成15年に開設され(平均年齢は63.7歳, 1日平均通所者数37.1, 女性15.2%), レクリエーション療法(カラオケ, 茶道, クッキング, 輪投げ, パターゴルフ, ビンゴ, ダーツ, 野外活動, ソフトボールバレーなど)や集団精神療法(断酒例会)を通して協調性・持続性・自主性・社会性を養うことを目標としています。

仕事内容は, 事務的な作業(金銭の管理, 書類作成)や生産活動(畑での野菜の収穫), レクリエーション療法の企画など複雑多岐に携わっており, 心理的なものだけでなく, 柔軟な対応力・行動力が必要となってくると感じます。ケアの良さは多職種のスタッフ(看護師, 作業療法士, 栄養士, 心理士)が携わっていることです。一つのケースに対しても異なる職種の人に話を聞くことができ, 客観的に問題点を捉え解決することができます。反対に孤独を感じる時もあります。何か一つ新しいことを始めるにしても不安であり, 上手くプログラムに取り入れられるのかと悩むことがあります。そのため, 手助けしてくれるスタッフの存在, 連携, コミュニケーションはとても重要になってくると感じます。

私が担当しているケアでは女性メンバー(患者)も増えてきてお

り, 育児ストレスや夫婦間の問題, 高齢者の一人暮らしの寂しさから飲酒するなど現代社会の問題を浮き彫りにしているように感じます。アルコール依存症は誰でもなりうる

可能性がある病気だと感じます。

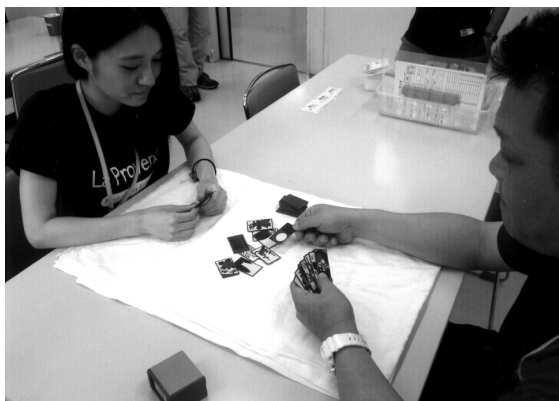
認定心理士を取得した理由

心理学に興味を持ち始めたのは, 中学生の頃からです。身近な人がうつ病になり, 何がこんなにも人を苦しめているのか……追い詰められるのか……「なぜ?」という疑問から人のこころに興味を持ち始めました。大学では, 「発達・教育」「臨床」「社会・人間」の領域を広くバランス良く学び, 基礎的な知識と技術が身に付きました。

大学3年次から就職活動を始め, 一般企業を40社近く受けて数社内定も頂き, そちらへ就職する予定でした。しかし自己分析をしていく中で, 命のそばで人と人が関わる仕事がしたい, いろいろな経験をしてきた方の人生のサポートがしたいという思いが強くなり医療の現場へ就職しました。そして卒業と同時に認定心理士の資格を取得し, 心理士として働いて

Profile — 野地史絵

2012年, 安田女子大学文学部心理学卒業。同年より, 呉みどりヶ丘病院精神科に勤務。レクリエーション療法や集団精神療法などを担当して, アルコール依存症者の心理的支援に携わっている。



デイケアのホールにて花札をしているところ

います。しかし, 認定心理士では技術面において限界を感じることもあり, 将来的には大学院で深く勉強し臨床心理士として働きたいと思っています。

メンバーさんと関わる中で

援助者として働いていますが, メンバーに助けられることも多々あります。優しい言葉をかけてもらったり, 時には厳しい意見をぶつけられながら人として成長させてもらっています。サポートしてあげていると思うだけでなく, 常に何かをもらっているということをお忘れずに仕事をしていきたいです。

精神障害を持つ人と健常者の判断は簡単なようですごく難しいと感じます。私たちもストレスを抱えながらも趣味や他者との関わりを支えとし, なんとか仕事をし, ぎりぎりのところで生活しているのだと思います。メンバーにも支えとなるものを, 集団の場を通じて何か感じ取ってもらいたいです。